

「K&Oヨウ素株式会社」事業開始のお知らせ

～世界のヨウ素メジャーを目指して～

K&Oヨウ素株式会社は、ヨウ素の年間生産量約1,600トン（世界のヨウ素シェアの約5%）となる世界有数のヨウ素サプライヤーとして、世界に向けて新たなブランド価値を創造し、さらなる成長を図るべく、2022年1月1日に事業を開始します。

本日、K&Oヨウ素株式会社の新たなスタートに向けて、同社の概要について、下記のとおり、お知らせします。

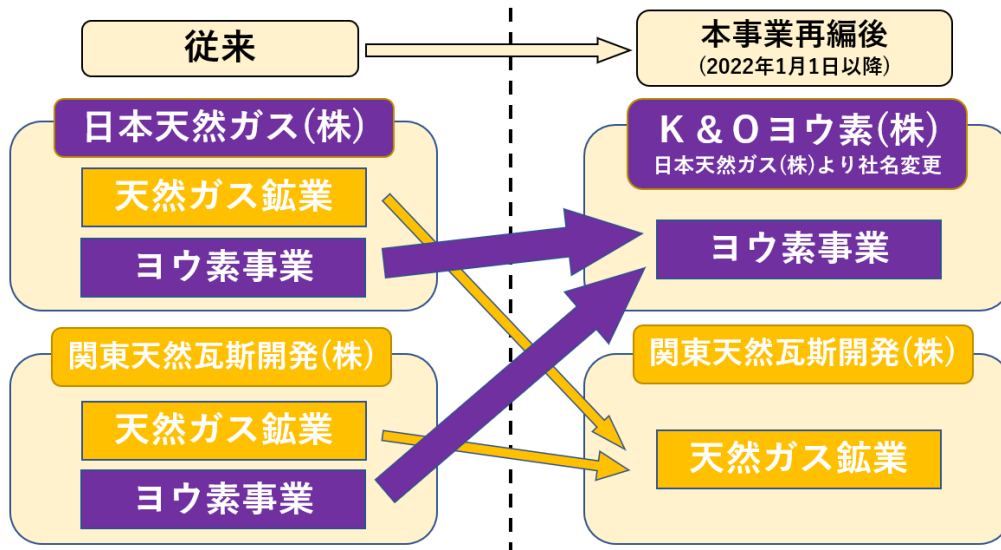
記

1. K&Oヨウ素(株)が新たにスタート

K&Oエナジーグループ(株)の連結子会社である日本天然ガス(株)と関東天然瓦斯開発(株)は、それぞれがヨウ素事業と天然ガス鉱業を行ってまいりましたが、2022年1月1日より、ヨウ素事業を日本天然ガス(株)へ、天然ガス鉱業を関東天然瓦斯開発(株)へ統合整理を行う事業再編を実施します。(2021年9月7日発表)

また、同日付で日本天然ガス(株)は「K&Oヨウ素(株)」へ社名変更いたします。

【事業再編イメージ】



【ロゴマーク】



K&Oヨウ素株式会社

2. ヨウ素事業のさらなる成長に向けて

世界のヨウ素市場は、年間2～3%、700～1,000トン、拡大しており、その需要に応えるため、K&Oヨウ素(株)は、以下の設備投資計画を進めてまいります。

- ①ヨウ素需要の拡大に応えるため、製造設備（ブローイングアウト法、イオン交換樹脂法）を恒常的に拡充してまいります。イオン交換樹脂法は、世界で唯一、K&Oヨウ素(株)が最終工程まで運用している製造方法で、小規模で機動的にヨウ素を製造することができ、大規模設備であるブローイングアウト法設備と併用することで、効率的なヨウ素製造が可能となります。

【ブローイングアウト法設備】



【イオン交換樹脂法設備】

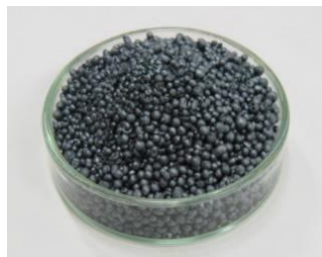


- ②現在の製品ヨウ素形状であるフレーク品に加え、お客様の要望にお応えするため、製品の固結が少ないプリル品の導入を進めます。

【フレーク品（ヨウ素）】



【プリル品（ヨウ素）】



- ③ヨウ素製造にDXを導入し、製品ヨウ素の自動充填化や省力化を進め、世界最高水準のオペレーション&マネジメントを目指します。
④井戸元吸着設備（イオン交換樹脂法）の増設・改良により、かん水利用率を高め、増産を図ります。

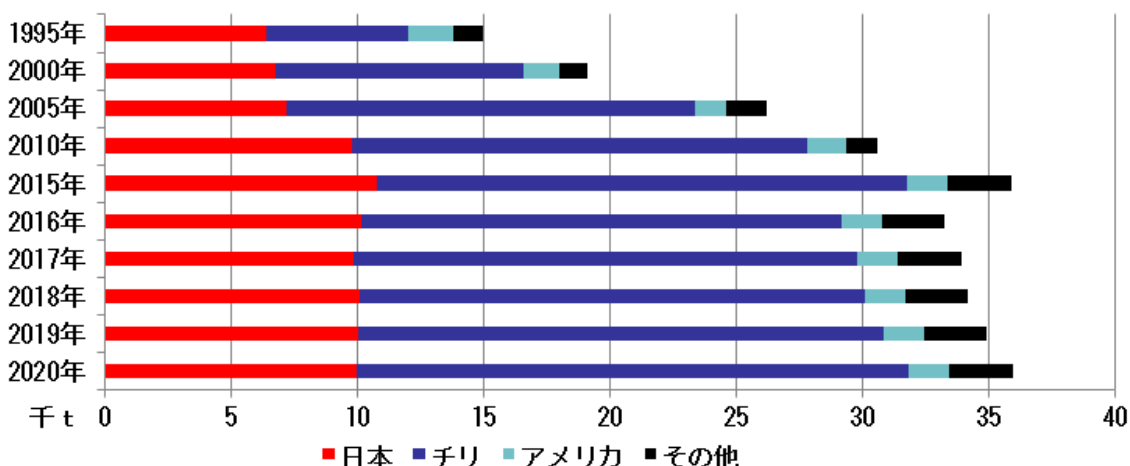
3. 世界のヨウ素メジャーを目指して

K&Oエナジーグループ(株)は、ヨウ素事業をコア事業として位置づけ、K&Oヨウ素(株)の株主であり、日本、アメリカ、チリ3ヶ国でヨウ素事業を推進する世界で唯一の会社である豊田通商(株)と協力してヨウ素事業のさらなる成長を目指します。

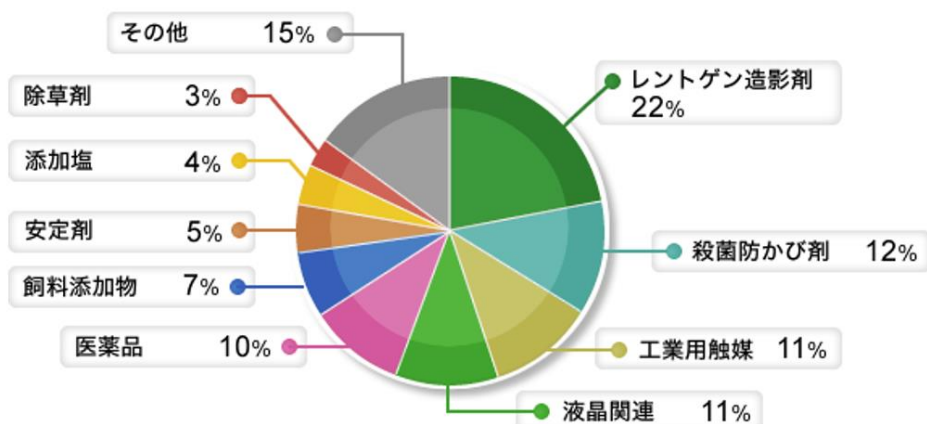
K&Oエナジーグループ(株)と豊田通商(株)は、事業パートナーとして、ヨウ素事業に関する国内外におけるアライアンスを強化し、海外の生産拠点開発も含め、ヨウ素の大幅な増産を図り、世界のヨウ素メジャーを目指します。

4. ご参考

【世界のヨウ素生産量の推移】 (K&O エナジーグループ(株) 調べ)



【ヨウ素の用途】 (K&O エナジーグループ(株) 調べ)



5. K&Oヨウ素(株)の概要

(1) 名称	K & Oヨウ素株式会社 ※2022年1月1日付で、日本天然ガス(株)より社名変更。
(2) 本店所在地	千葉県長生郡白子町南日当 2508 番地
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 森 武
(4) 事業内容	ヨウ素およびヨウ素化合物の製造・販売
(5) 資本金	300 百万円
(6) 決算期	12 月 31 日
(7) 出資比率	K & O エナジーグループ(株) : 80% 豊田通商(株) : 20%

6. 問合せ先

K & O エナジーグループ株式会社 総務部
TEL 0475-27-1011
豊田通商株式会社 広報部 報道グループ
TEL 03-4306-8200

以 上